

各地域の取り組みからの検討

－ 第1層協議会として何ができるか －

1 支え手として活動への参加を促す取り組みについて

検討項目として設定した理由

地域での支え合い活動への参加者は同じ顔ぶれであり、支え手の不足が深刻な状況がある。

支え手を発掘するための研修会や講演会への主な参加者は、町内会等の役員、民生委員や社会福祉推進委員など既に活動している方々が大半となっている。

支え合いを自分事として貫くための創意工夫が求められている。

2 支え合い活動と専門職の連携について

検討項目として設定した理由

地域が担える範囲を超えて支援をせざるを得なくなる状況が散見される。

断ることができない支援依頼や、見るに見かねる状況においては、生活支援コーディネーターに相談するよう広報をはじめた。

専門職との連携を円滑にすることにより危険を回避する伴に、無理なく支援に参加できることが望まれる。